

積水化学グループの次世代育成支援

2015年12月17日

積水化学工業株式会社



1.会社概要

- 社名：積水化学工業株式会社
- 設立：1947年3月3日
- 資本金：1,000億200万円
- 従業員数：2,293人（単独）23,886人（連結）
- グループ連結会社数：166社（うち海外 82社）

2.事業概要

積水化学グループ(2015年3月末 売上高:11,127億円 営業利益:857億円)

住宅カンパニー

住宅分野



● 鉄骨系ユニット住宅
「セキスイハイム」



● 木質系ユニット住宅
「セキスイツーホーム」

リフォーム分野



● 住宅のメンテナンス・増改築

不動産分野



● 優良中古住宅の仲介
● アパートの賃貸管理

リフォーム

内販リフォーム、メンテナンス



住資産マネジメント

賃貸管理や仲介等、不動産事業



環境・ライフラインカンパニー

管材分野



● 上下水道・電力・ガス・通信用配管
● 管路更生

建築分野



● 建築材料・設備(雨どい、デッキ材、断熱材)
● 浴室ユニット

機能材分野



● PVCシート
● まくらぎ

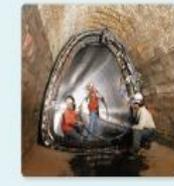
インフラストック

官・民インフラのマネジメント



海外水インフラ

先進国管路更新と
新興国水インフラ新設



高機能プラスチックカンパニー

エレクトロニクス分野



● モバイル関連材料
● 光学・半導体材料
● 液晶・ディスプレイ材料

車輛・輸送分野



● 合わせガラス用中間膜
● 車輛用成型部品
● 発泡ポリプロピレン内装材

住インフラ材分野



● 耐火材料 ● 機能樹脂
● 住宅建築用テープ
● プラスチック貯留材

ライフサイエンス分野



● 検査薬
● 医療機器

モバイル材料

モバイル端末用材料
(両面テープ・導電粒子等)



環境快適材料

車輛等の居室環境向上に
寄与する材料



機能インフラ材料

耐熱配管材向け樹脂原料、
耐火材料など



検査薬システム

臨床検査などの
検査薬・器具・機器





3.プログラム開発の経緯と目的

社会貢献活動方針

良き企業市民として、『環境』『次世代』『地域コミュニティ』を視点に置いた活動に取り組み、事業活動だけでなく社会への貢献を果たします

■次世代育成活動 3つの柱

事業特性を活かす



継続的に実施する



従業員が参加する

Point

事業特性を活かし、
次世代とともに成長する
活動を展開



積水化学工業株式会社
住宅カンパニー及びセキスイハイムグループ
環境と共生する住まいについて考える
“住まいと環境”学習プログラム

住宅

積水化学
グループ

化学



積水化学工業株式会社
高機能プラスチックカンパニー
化学の面白さを体感する
化学教室プロジェクト

医療



積水メディカル株式会社
理科学習と医療のつながりを実感する
“消化・吸収”のしくみと健康



4. 事業特性を活かした次世代育成活動



	“住まいと環境”学習プログラム	化学教室プロジェクト	理科教室
授業	中学1、2、3年生	中学1、2、3年生	中学2年生
単元	家庭科「住まい」	理科「化学、イオン」	理科「消化・吸収」
事業	<ul style="list-style-type: none"> ・家づくりの知見を活かす ・全国4エリア(関東、中部、関西、九州)の事業所を中心に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究所の研究者を中心とした取組(工場では平日の授業実施が難しい) ・希望者のほかに、新入社員の研修の一環でも実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究所の研究者を中心とした取組 ・希望者による実施(多数の応募があり人員確保は問題なし)



教員との協働での開発・実施



5.プログラム内容「住まいと環境」学習プログラム

住宅カンパニー × 家庭科「住まい」

生活に身近な「住まい」の役割を見直すとともに、環境と共生する住まいと暮らしへの価値観を形成することを目的にしています。

<Key Word> 多様な価値観の理解と自身の価値観の形成。学びを深める教材と授業構成。

■プログラム概要

基本授業

<4時限分>

- 1:暮らしやすい住まいをめざして
- 2:MYエコハイム企画会議
- 3・4:MYエコハイムをつくろう



▲住宅キットを用い、依頼者の家を組み立てる

オプション

<3プログラム>

- 「いい家」って何だろう？
- 住まいの役割って何だろう？
- 人の暮らしと環境のかかわり



▲グループで作った家をプレゼンテーション

■教員との連携

●プログラム開発
エコプロダクツ展にて中学校教員より、環境と住宅について学習できるプログラムの要望を受け、教員と協働で開発。

●プログラム改訂
教員ヒヤリングをもとにプログラムを継続的に改訂。(2014年度は指導要領の改訂と連動し、プログラム構成および内容を刷新)



6.プログラム内容「化学教室プロジェクト」

高機能プラスチックカンパニー × 理科「化学」

<Key Word>

科学的思考力の育成。学習と社会とのかかわりへの気づき。理科学習の有用感。

■プログラム概要

中学1年

<3時限分>

- どうして物質を区別する必要があるのか？
- プラスチックを調べよう
- プラスチックは面白い



▲ 燃焼実験でプラスチックの性質を調べる

中学2年

<2時限分>

- 身のまわりの物質は何かからできているのだろうか？
- 化学変化の利用



▲ イオンの移動の様子を観察実験

中学3年

<2時限分>

- イオンの移動と性質
- プラスチックを使った先端技術を体感しよう

■教員との連携

●プログラム開発
教員検討会を実施。学習指導要領改訂にともないプラスチックに焦点をあてた授業提供の要望を受ける。

●プログラム改訂
教員ヒヤリングをもとに毎年プログラムの改訂を行う。(特に2014年度は「言語活動の充実」に焦点をあてたプログラムの改訂を実施)



7.プログラム内容「理科教室」

高機能プラスチックカンパニー(検査薬事業・医療機器) × 理科「からだのしくみ」

<Key Word>

科学的思考力の育成。実践を通じた学習と社会とのかかわりへの気づき。理科学習への意欲喚起。

■プログラム概要

<1時限>

導入

これまでの学習のふりかえり

展開①

消化のしくみについて確認
模型を使って具体的にイメージ

展開②

消化酵素のはたらきと吸収のしくみについて確認
オリジナル実験キットを使って
サポーターとともに実験

まとめ

理科学習と医療のつながり
からだのしくみを利用して検査薬と装置の研究開発を行っていることを伝える



▲サポーターとともに消化酵素の働きを実験で確認



▲オリジナル実験キット

■教員との連携

●プログラム開発
教員検討会を実施。
「からだのしくみ」において特に教員から要望の高かったテーマにてプログラムを開発。

●新規プログラム
教員ヒヤリングに基づき既存プログラムの改訂とともに、「遺伝子」をテーマにした新たなプログラムの開発着手(2016年度リリース)。



8.プログラムの効果

■学校現場への効果

生徒のアンケートより

- ・自分たちで家をつくるのは難しかったが、プロから教わりながら、班員と協力して取り組むのはとても楽しかった。普段何気なく住んでいる家に色々な工夫がされていることがわかり、とても勉強になった。

（“住まいと環境”学習プログラム）

- ・私が予想していたことと違う実験結果がでたとき、驚いたし同時に面白かった。 （化学教室）
- ・説明が分かりやすかった。理科の点数、上がるように頑張りたい。 （理科教室）

教員アンケートより

- ・通常の授業では味わえない創造的な授業であり、「家」を通じて、地球のこと、日々の生活のことなどについて考えることができた。

（“住まいと環境”学習プログラム）

- ・自分にも勉強になっている。積水化学授業の日は、生徒にとって特別な日になっている。（化学教室）
- ・研究者の方々と一緒に過ごす時間は、50分という短い時間だが、生徒にとって貴重で充実した体験となっている。 （理科教室）

■社内への効果

従業員の 意欲向上

- ・従業員モチベーションアップ
- ・何度も参加してくれる従業員も

社内での 普及・発展

- ・北米、欧州にて化学教室プロジェクトスタート
- ・積水メディカルで新プログラム開発
- ・四国積水(株)での中学生授業の実施



9.これからの展開に向けて

100年経っても存在感のある企業グループ

「100年経っても要望される次世代育成活動」

“住まいと環境”学習
プログラム

プログラムを
実施できる
従業員の増加

化学教室
プロジェクト

教育現場の
ニーズに応じた
プログラムの
継続的な提供

理科教室

プログラムの
普及・定着

Point

**積水化学グループ全体への浸透
事業特性に合わせて着実に実施**

世界にまた新しい世界を。
A new frontier, a new lifestyle.